

連休最後の日、近くの「あさつゆ広場」で夏野菜の苗を購入しました。この時期に植えないと夏の美味しい果物や野菜は食べられません。まして、「六人の菜園主」が控える我々の菜園にあっては、私の菜園のみにトマトがない、キュウリがない、ナスがないとなっては菜園経営の仲間入りはできません。

皆に後れを取るまいと頑張って植え付けました。



■ 菜園のほぼ全景です。遠くに「鷹取山」を望みます。

敷きワラと支柱を立ててあるところが今回植えた作物です。

ワラは牛糞を購入した時いただき、地面の乾燥を防ぐには、十分すぎるほどに敷いています。

支柱は、風が強くあたる菜園で、苗が風にあおられるのを防ぐために、支柱にくくり付けました。

■ トマトです。種類は「桃太郎」と云う普通サイズ二本とミニトマト三本です。

毎年トマトを植えますが、普通サイズの片手で持てる大きさのトマトの栽培は難しいです。時折、色づき始めると害鳥、おそらくカラスについばまれ、実ごともしご取られ落とされていることもあります。

ミニは被害が少なく、湯むきをしてドレッシングとあえると美味しいですが、型は小さいですし数が多く、調理人からはあまり評判がよくありません。



■ 手前のナス三本とピーマン、あまながトウガラシを二本ずつ植えました。上手に育つと、食べるのに追いつかなくなるくらい沢山収穫できます。

頭がピーマンとならないように調整しながら食卓を賑わせます。





■ 米ナスです。

水やりと追肥をコントロールすると秋口まで収穫できます。ソフトボール大の実を付け、輪切りにしてフライパンで焼き、冷蔵庫保存すると食用の期間をさらに伸ばすことも可能です。



■ ズッキーニです。

北アメリカ南部が原産だそうです。なんと、名前はイタリア語と事典に書かれています。ウリ科のペポカボチャの一種でサマースカッシュ、つるなしカボチャとも呼ばれているようです。

薄く輪切りにした炒め物が美味しいです。

■ キュウリを三本植えました。

専用のネットを設けています。

ウリ科で原産地はインド、世界各地で広く栽培されています。つる植物なので巻きひげでネットに絡み付きながら成長して行きます。

最盛期になると収穫が一日遅れると肥大化し「お化けキュウリ」となってしまうくらい成長が早いです。



□ ホットタイム： 菜園を彩どる花々



■ 小玉スイカ三本です。

ワラの保管場所まがいですがスイカを植えました。夏に使った日除けのすだれで囲いました。スイカはつるで伸び、実を付けます。伸び広がらないような仕組みです。昨年は、食べごろになると分かるのですが、害鳥にやられてしまいました。囲いで防げますが、上が開いてはだめです。工夫が待たれます。



■ 隣の菜園主の風除けです。無用の肥料のビニール袋で囲い、防風をしています。これなら完璧です。若い苗に風の影響をシャットアウトできます。

袋の数を揃えるのに難がありますがよく保管されていました。沢山並んでいます。

奥の菜園にも袋が活用されています。

■ イチゴのネットが四列。

良く育ち、幾つもの赤い実を付けています。お孫さん用みたいです。昨年はこのような工夫はされていませんでした。

イチゴの赤い実は害鳥に狙われますがこれでは、さすがの鳥たちも閉口でしょう。

お孫さんの喜ぶ姿が想像できますし、お爺ちゃんお婆ちゃんの努力が偲べれます。



■ 究極の工夫です。

中に植わっているのはゴボウです。地下深く伸びるゴボウ、成長し掘り出すのに一苦労です。地上高く土が盛られていますので、この方法なら取り出すことが容易になります。

グッドアイデアですね。





■ ネットで広く囲われています。
中にはトンネル、青いビニールの下は牛糞です。

今後の展開が待たれます。



■ 背の高い支柱が並びます。
トマト、ナスの苗は防風のためくくりつけられ、ワラがふんだんに敷き詰められています。

遠くに相模大山が見えます。

■ 三月中旬に植え付けたジャガイモです。

寒風や霜にもめげず成長しました。

三日ほど前、「芽カキ」を終え、しっかりした茎を残しています。

勝負は地下の「イモ」ですが、まだ分かりません。

花を付けている株もありましたので次に紹介します。





■ ジャガイモの花です。

ジャガイモはナス科でアンデス地方の高地が原産と云われています。トウモロコシとともにインカ文明を支える主要な食糧でした。コロンブス以降、スペイン人によってヨーロッパへ、そして今では世界各地で栽培されています。

日本へは16世紀の終盤、オランダ船がジャワのジャガタラ（ジャカルタ）からもたらしたので、ジャガタライモ、ジャガイモと呼ばれています。

花はナスと同じです。

■ ソラマメ（空豆・蚕豆）です。

原産地は西南アジアで、中国を經由し江戸時代に渡来、関東以西で栽培されています。

豆のさや（豆果）が上（空）を向いて育ちます。ソラマメの由来です。

葉が大分傷んでいますが、茎にアブラムシがところ狭ましとこびり付いたので切り取ったり、少々手荒に作業した結果のようです。

美味そうな形になってきました。



■ エンドウ豆です。

ヨーロッパ原産の古い作物なので世界各地で栽培されています。白い花のシロエンドウ、赤・紫の花をアカエンドウと呼びます。

背の高い品種もありますが、私の家では背の低いものを植えました。真冬の霜が心配でワラで覆ったりしましたが、ようやく実をつけ出しています。

メンデルは豆を食べなかったのかな？